



明野ふくろう便



明野中央病院広報誌

日本医療機能評価機構 認定病院

vol.20

新年あけましておめでとうござい
ます。旧年中は当院をご利用いただき
ましてありがとうございます。
昨年は、日本を含めアメリカ、ロシ
ア、フランス、中国、韓国などのいわゆ
る世界の主要国での国のリーダーの
選挙や交代があるという特異な年で
した。さらに経済面では、いわゆる
ユーロ危機から始まり、かつては世界
を席巻した日本を代表する複数の家
電メーカーが超円高により韓国の企
業との国際競争に負け、創業以来の赤
字を計上しリストラを余儀なくされ
ました。また、外交面では、竹島や尖閣
諸島などの領土問題、北朝鮮のミサイ
ル発射事件など、日本が諸外国とどう
関わっていくべきかがクローズアッ
プされた一年でした。
国内でも、デフレの持続による景気



新年のご挨拶

院長 木下 昭生

後退、原発問題、大震災からの復興等、
難題が山積です。特に、わが国の財政
は、不況による税収の停滞から歳出が
歳入を大幅に上回り、その不足分を赤
字国債で補わざるを得ない状態で、長
期債務も1000兆円を超えました。
その大きな要因は、社会保障費の増加
とされています。これから毎年、高齢
化の進行や医療内容の高度化で、国民
医療費は確実に増加していきます。そ
のため国は、医療費の適正化と称し、
数々の医療費削減案を提案していま
す。しかし、その前に国民医療費増加
の中身をよく検討すべきだと思います。
例えば、10年以上前から、国は国民
医療費の増加の一因として、医療機関
が不必要な投薬で収益を上げ過ぎて
いるという理由で院外薬局を推奨し
てきました。しかし、近年、院外薬局が
増加して薬剤に関する国民医療費は
むしろ急増しています。また、メタボ
の予防として華々しく始まった特定
健診も、健診後のフォローアップを受
けている人はごくわずかで、十分効果
を上げているとはとても言えません。
さらに、国は医療費の削減のため「地
域包括ケア」というシステムを立ち上
げ、高齢者が病院ではなく自宅や施設
で24時間365日対応の医療の提供
を受けられるような制度を考えてい
るようです。しかし、現状ではほとん

どの地域で医師や訪問看護師の数が
大幅に不足し、このままでは「地域包
括ケア」は、絵に描いた餅に過ぎま
せん。社会保障費の適正化という戦略
は正しいのですが、それぞれの戦
術が間違っているように私には思え
ます。年末には、総選挙の末、民主党に
代わり自民党の安倍内閣が発足しま
した。捲土重来を期しての安倍政権に
は大いに期待したいものです。
当院は、昨年9月に藤川医師が中心
となり、リウマチの患者さんとスイス
に行こうプロジェクト(明野クララ元
気ツアー)を支援させていただきました。
参加された患者さんには大変喜ん
でいただきました。また、11月にはア
クロスホールで健康セミナーを開催
したところ、地域の多くの皆様に参加
していただきました。
今年も、地域の皆様との絆を大切
にした病院を目指して行きたいと思
います。皆様にとっては今年が素晴らしい
有意義な一年になることを祈念
して新年のご挨拶とさせていただきます。
今年も明野中央病院をどうぞ宜し
くお願いいたします。



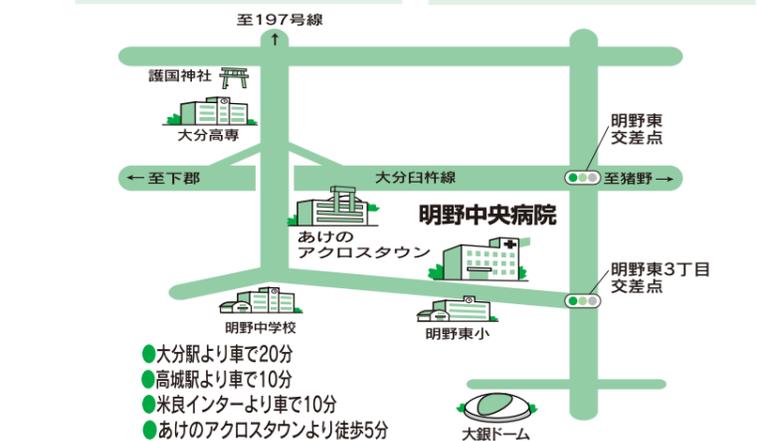
外来担当医師のご案内

担当医師名		月	火	水	木	金	土
		午前	○	○	○	○	○
院長 木下 昭生	午後		○				休診
	午前	○	○	○	○		○
内科部長 西宮 実	午後			○			休診
	午前	○				○	
宮崎 眞理	午後	○					休診
	午前						○
石井 寛	午後				○		休診
	午前						○
本田 周平	午後				○		休診
	午前						○
森永亮太郎	午後						○
	午前						○

担当医師名		月	火	水	木	金	土
		午前	○	○		○	○
副院長 中村英次郎	午後			○			休診
	午前	○	○	○		○	○
こひ・かせつ・リウマチセンター長 藤川 陽祐	午後			○			休診
	午前						○
整形外科部長 井口 竹彦	午後	○	○	○		○	休診
	午前			○			
原 克利	午後						休診
	午前						○
橋本 二郎	午後			○			休診
	午前						○

INFORMATION

診療科目	受付時間
内科・消化器内科・リウマチ科 整形外科・形成外科 リハビリテーション科 麻酔科	月曜日～金曜日 8:30～11:30 14:00～17:30 土曜日 8:30～11:30 日曜日・祝祭日 休診



- ### 病院理念
- 医療・介護を通じ、
患者さんの生活の質の向上に努める
- ### 基本方針
- 一、家庭的な優しい医療・介護の実施に努めます
 - 一、地域の皆様から安心・信頼される病院づくりに努めます
 - 一、患者さんひとりひとりの権利を尊重するように努めます
 - 一、たえず医療・介護の質の向上に努めます
 - 一、地域の健康増進・病気の予防に努めます

- ### 患者さんの権利について
- 私共は、患者さんの権利に関するリスボン宣言を遵守致します
1. 平等で最善の医療を受ける権利
 2. 安全に医療を受ける権利
 3. 治療を自由に選択し自己で決定する権利
 4. 治療内容を知る権利及び知らないでいる権利
 5. プライバシーが守られる権利
 6. 他の医師や第三者の意見も聞き納めて治療を受ける権利 (セカンドオピニオン)

医療法人社団 唱和会

明野中央病院

日本医療機能評価機構 認定病院

発行日 2013年1月
〒870-0161 大分市明野東2丁目7番33号
TEL 097-558-3211 (代表) FAX 097-558-3709
E-mail akenohp@fat.coara.or.jp
http://www.coara.or.jp/~akenohp/

中学生職場体験学習

～大分大学附属中学校～

12月4日(火)～6日(木)に大分大学附属中学校の生徒さん4名が学校の授業の一環として職場体験学習にやってきました。手術室内での業務や医療機器の取り扱い、人工関節置換術の手術の流れと実際の模型を使った手術体験、エコーを使つての筋肉の動きの観察、看護部やリハビリテーション科での業務体験など3日間で医師・看護師・リハビリ・検査技師・放射線技師など様々な職種の実験をしました。病院では様々な職種の人達が患者さんの病気に対して治療や相談などを行っています。普段さわることもや見ることの少ない医療機器の取り扱いや多くの医療職種の仕事などを体験し、将来の職業や進路を決める上で少しでも参考になれば幸いです。



▲全員で記念撮影
ツリーの飾り付けもありがとうございました



▲病棟で看護師体験
上手に血圧が測れたかな？



▲手術室の見学と人工関節の手術体験



第11回 院内研究発表会開催

10月27日(土)院内研究発表会を開催しました。職員の技術の向上と業務改善を目的として、毎年実施しています。全部署から12チームが日頃の研究成果を発表しました。審査員には院外からも来賓をお招きし、様々な視点から審査、ご指導を頂きました。特別講演では湯布院厚生年金病院リハビリテーション部部長佐藤浩二先生よりご講演も頂きました。



▲特別講演 湯布院厚生年金病院
リハビリテーション部 部長 佐藤 浩二 先生

秋のガーデン ティーパーティーを開催

11月2日(金)恒例となりましたガーデンティーパーティーを行いました。秋晴れの素晴らしい天気にも恵まれ、病棟のウッドデッキでは多くの患者さんがボランティアのみなさん
がボランティアの
ティアの
方々の入れ
る抹茶や
コーヒーを
楽しんでい
ました。



▲会場は大盛況。ボランティアのみなさん
ありがとうございました

病院年報公開

2011年度の病院年報を発行いたしました。当院のホームページよりPDF形式にて閲覧が可能ですのでご覧になってください。



第4回

明野中央病院健康セミナー健康チェック体験フェアを開催

11月11日(日)、あけのアクロスタウン3階アクロスホールにて恒例となりました「明野中央病院健康セミナー」を開催しました。今年のテーマは「健康チェック体験フェア」としまして、会場内に血圧測定や骨密度測定、肺活量測定や体力測定などのブースを設け、参加者の方々に実際にそれぞれの検査を体験していただきました。

当日は、まず始めに木下院長が「自分で守ろう、自分の健康」と題して講演を行い、特に血圧を測ることの大切さと正しい測り方などについて説明しました。続いて、中村副院長が「首、肩、腰、膝、お元氣ですか?」と題して講演を行い、腰痛や膝痛の予防と対策などについて説明しました。2人の講演の後はいよいよ健康チェック体験会に入り、400名を超える参加者の方々がそれぞれの体験ブースに列を作り、気になる部分の健康チェックを行いました。

が参加者からの質問や相談に対応し、「救急蘇生コーナー」では、最新機能を搭載した人形を使った心臓マッサージやAEDの体験も行われました。体脂肪、内臓脂肪測定、肺年齢や血管年齢測定などおなじみの検査の他、超音波検査体験、栄養・カロリー測定、脳年齢測定などのブースもあり、参加者は検査結果を熱心に確認していました。さまざまな健康チェック体験によって、参加者の皆様の健康維持、疾病予防に少しでもお役に立てたのであればうれしく思います。ご参加いただいた皆様と、準備段階からご協力いただいた自治会を始め各方面の方々に感謝申し上げます。



▲看護部の血圧測定のコーナーは大盛況



▲医師相談コーナーの様子



▲救急講習ではAEDの使い方
も指導



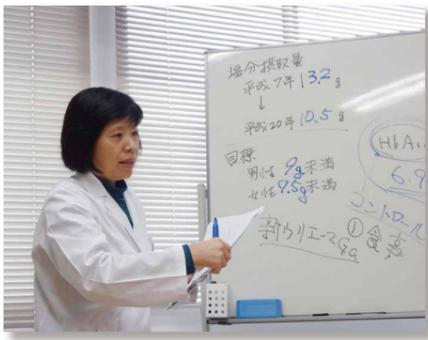
▲リハビリテーション科の体力測定

第30回

糖尿病相談会開催

11月17日(土)第30回糖尿病相談会を開催し、今回は食事療法を取りあげました。木下院長より家庭でできる尿糖の簡易検査について説明があり、病院で検査するHbA1cの値に注意して食事でコントロールすることの大切さについて解説しました。

今回は事前に患者さんが1日に食べた食事を振り返ってもらい、パソコンのソフトを使用し塩分摂取量とカロリーコントロール分析を行いました。管理栄養士より結果についての説明を行い、現在の塩分摂取量を目標の値にするためのアドバイスや糖尿病食の上手な摂り方について話しました。



▲管理栄養士より塩分摂取量についての解説